

## 脳・心臓疾患及び精神障害等に係る労災補償状況（平成17年度）について

今般、平成17年度の「脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）の労災補償状況」及び「精神障害等の労災補償状況」がまとまった。

## 1 「過労死」等事案の労災補償状況（別添資料（表1-1～4、図1-1～4）のとおり）

- ① 請求件数は869件であり、前年度に比べ53件（6.5%）増加。
- ② 認定件数は330件であり、前年度に比べ36件（12.2%）増加。
- ③ 業種別では建設業、運輸業の請求、認定件数が増加。
- ④ 職種別では事務職の請求、認定件数が増加。
- ⑤ 年齢別では40～59歳の認定件数が増加。

## 2 精神障害等の労災補償状況（別添資料（表2-1～4、図2-1～4）のとおり）

- ① 請求件数は656件であり、前年度に比べ132件（25.2%）増加。
- ② 認定件数は127件であり、前年度に比べ3件（2.3%）減少。
- ③ 業種別では製造業、医療福祉業の請求件数が増加。
- ④ 職種別では専門技術職、事務職の請求件数が増加。
- ⑤ 年齢別では29歳以下、30～49歳の請求件数が増加。

表1-1 脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）の労災補償状況（件）

区 分		年 度				
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
脳・心臓疾患	請求件数	690	819	742	816	869
	認定件数	143	317	314	294	330
うち死亡	請求件数	—	—	319	335	336
	認定件数	58	160	158	150	157

- 注) 1 本表は、労働基準法施行規則別表第1の2第9号の「業務に起因することの明らかな疾病」に係る脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）について集計したものである。  
 2 認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。  
 3 平成13年12月に脳・心臓疾患の認定基準が改正されている。  
 4 平成14年度以前の死亡に係る請求件数については把握していない。

図1-1 脳・心臓疾患に係る労災請求・認定件数の推移

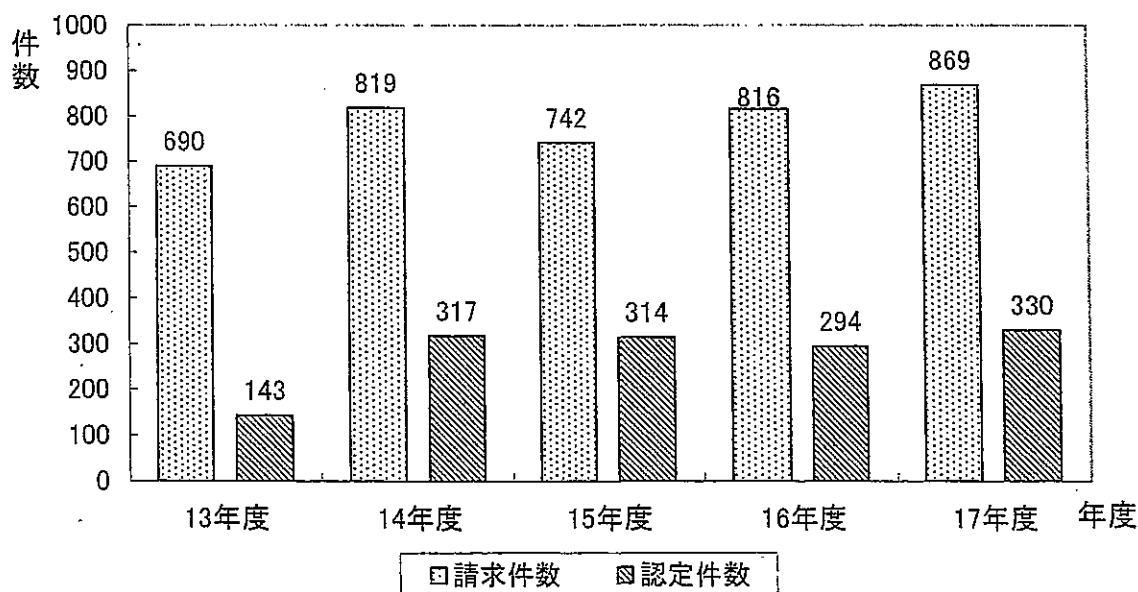


表1-2 脳・心臓疾患の業種別請求及び認定件数一覧

(件)

業種	年度	平成16年度		平成17年度	
		請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
農業・林業・漁業・鉱業		12	3	10	4
製造業		179	64	133	60
建設業		105	29	125	35
運輸業		160	71	170	85
卸売・小売業		129	48	137	57
金融・保険業		6	3	9	3
教育、学習支援業		12	5	20	5
医療、福祉		21	3	34	4
情報通信業		14	10	24	5
飲食店、宿泊業		37	13	46	22
上記以外の事業		141	45	161	50
合計		816	294	869	330

注 1. 業種については、おおむね「日本標準産業分類」により分類している。  
 2. 「上記以外の事業」に分類されているのは、不動産業、サービス業などである。

図1-2 業種別構成比

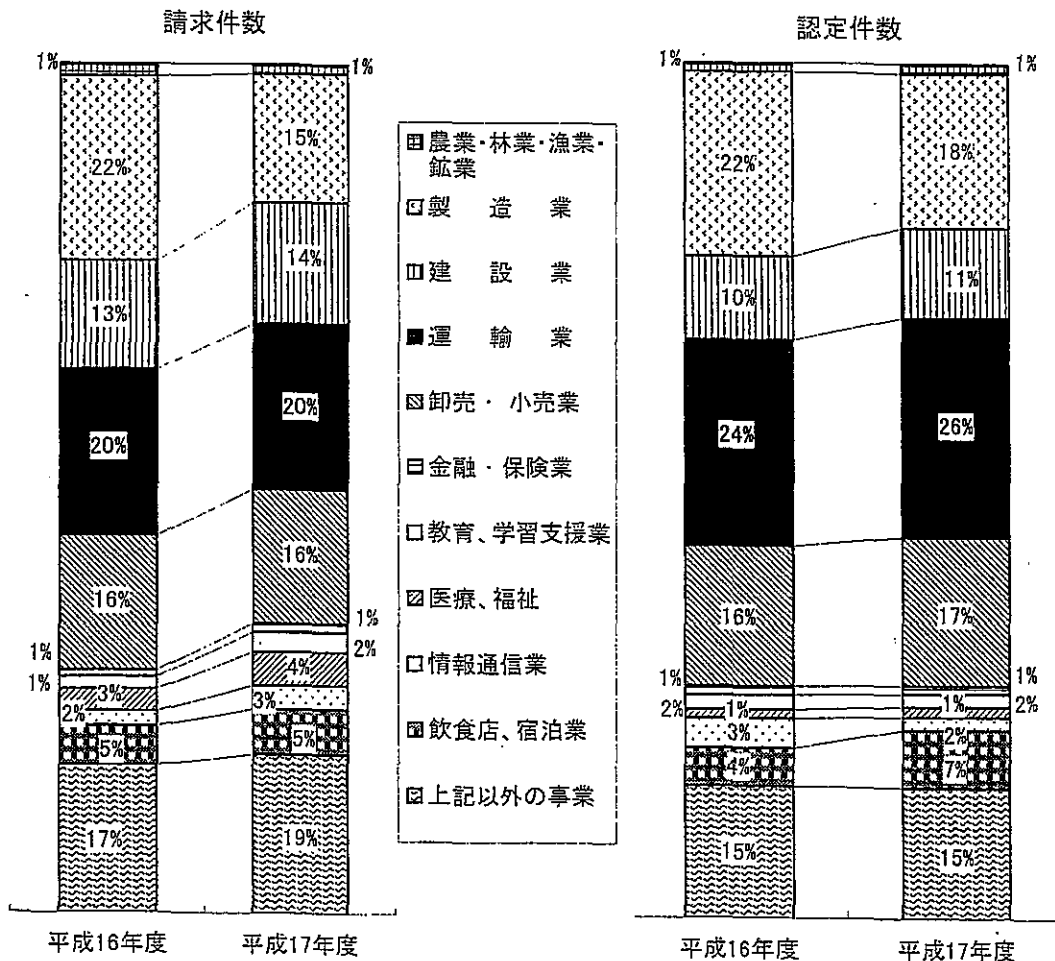


表1-3 脳・心臓疾患の職種別請求及び認定件数一覧 (件)

職種	年度	平成16年度		平成17年度	
		請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
専門技術職		123	53	125	44
管理職		128	53	90	62
事務職		47	20	98	33
販売職		100	26	96	38
サービス		71	17	74	23
運輸・通信従事		153	74	166	82
技能職		152	42	166	34
その他		42	9	54	14
合計		816	294	869	330

注 1. 職種については、おおむね「日本標準職業分類」により分類している。  
 2. 専門技術職に分類されているのは、システムエンジニア、専門技術者などであり、技能職に分類されているのは、製造工、専門工事職などである。

図1-3 職種別構成比

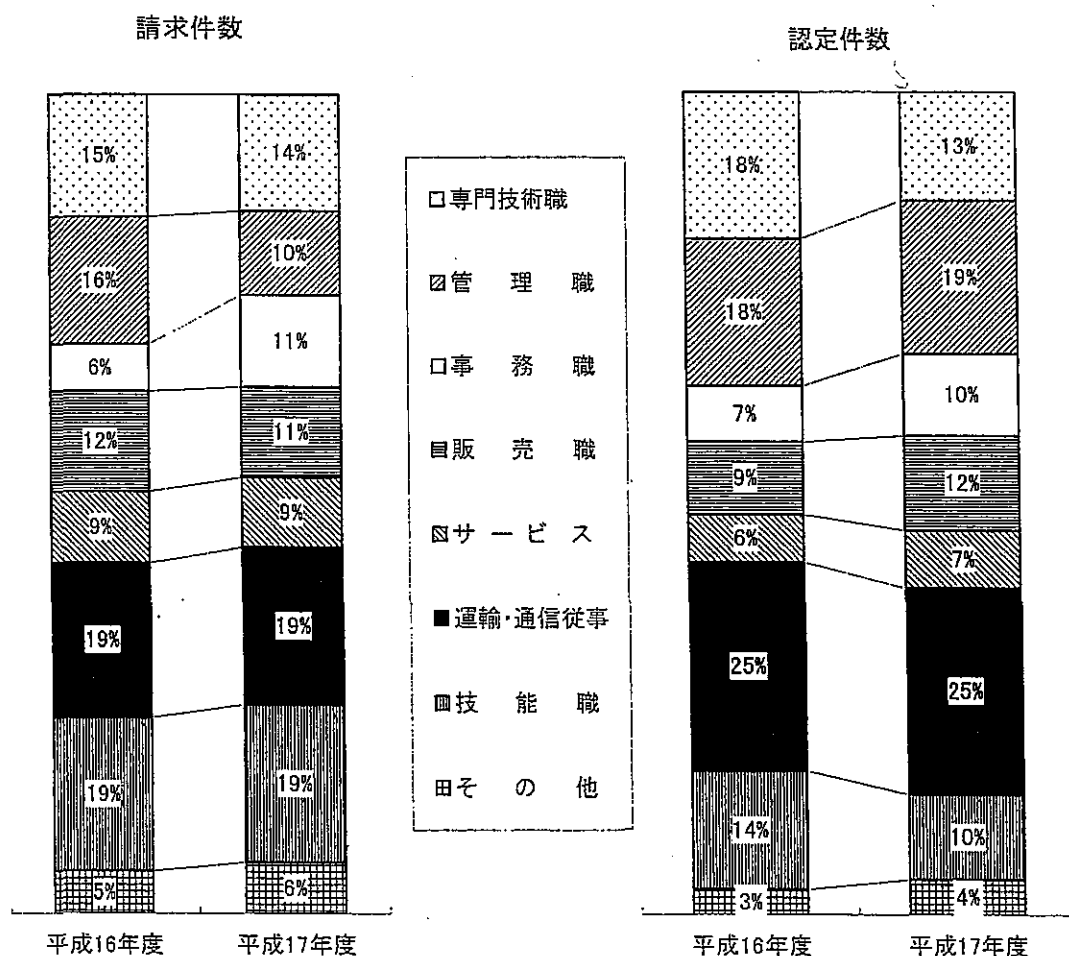


表1-4 脳・心臓疾患の年齢別請求及び認定件数一覧

(件)

年齢	年度	平成16年度		平成17年度	
		請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
29歳以下		30	16	35	15
30～39歳		93	48	107	49
40～49歳		205	78	191	95
50～59歳		332	121	355	143
60歳以上		156	31	181	28
合計		816	294	869	330

図1-4 年齢別構成比

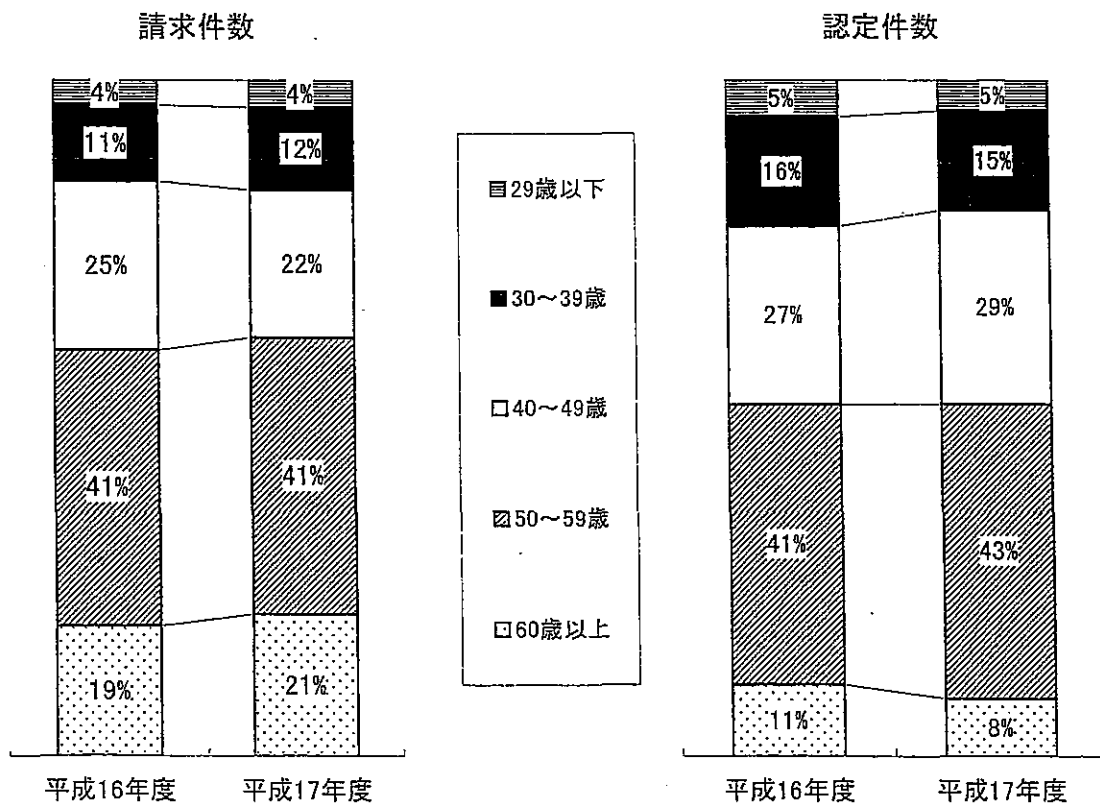


表2-1 精神障害等の労災補償状況

(件)

区 分		年 度				
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
精神障害等	請求件数	265	341	447	524	656
	認定件数	70	100	108	130	127
うち自殺 (未遂を含む。)	請求件数	92	112	122	121	147
	認定件数	31	43	40	45	42

注) 1 認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。  
 2 平成11年9月に精神障害等の判断指針が策定されている。

図2-1 精神障害等に係る労災請求・認定件数の推移

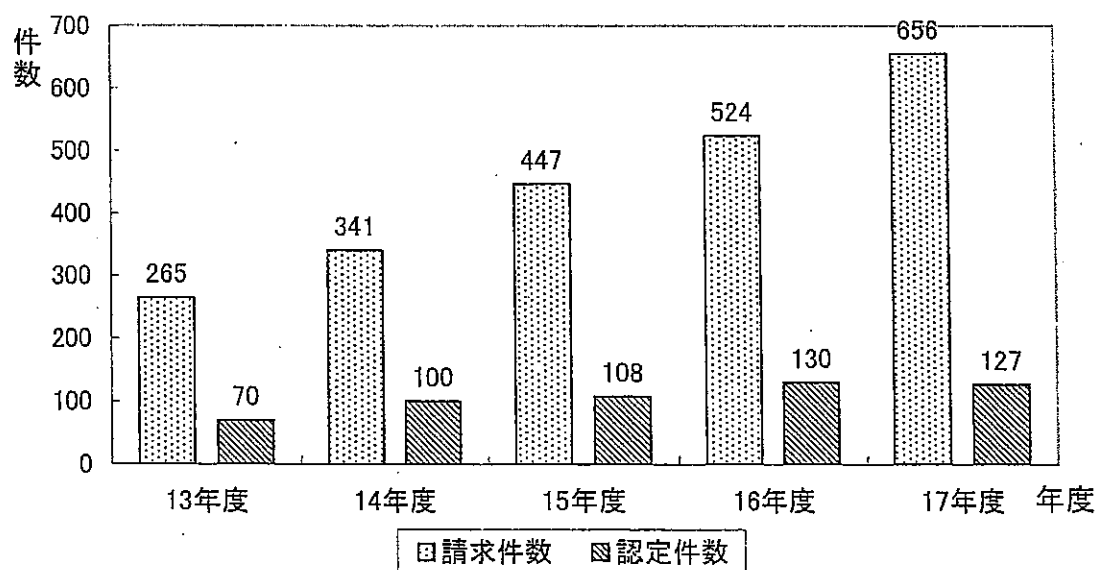


表2-2 精神障害等の業種別請求及び認定件数一覧

(件)

業種	年度	平成16年度		平成17年度	
		請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
農業・林業・漁業・鉱業		5	0	3	0
製造業		104	33	138	26
建設業		44	20	45	12
運輸業		50	11	53	15
卸売・小売業		87	20	103	16
金融・保険業		31	4	25	9
教育、学習支援業		17	1	17	2
医療、福祉		52	20	86	13
情報通信業		17	1	31	10
飲食店、宿泊業		24	6	25	6
上記以外の事業		93	14	130	18
合計		524	130	656	127

注 1. 業種については、おおむね「日本標準産業分類」により分類している。  
 2. 「上記以外の事業」に分類されているのは、不動産業、サービス業などである。

図2-2 業種別構成比

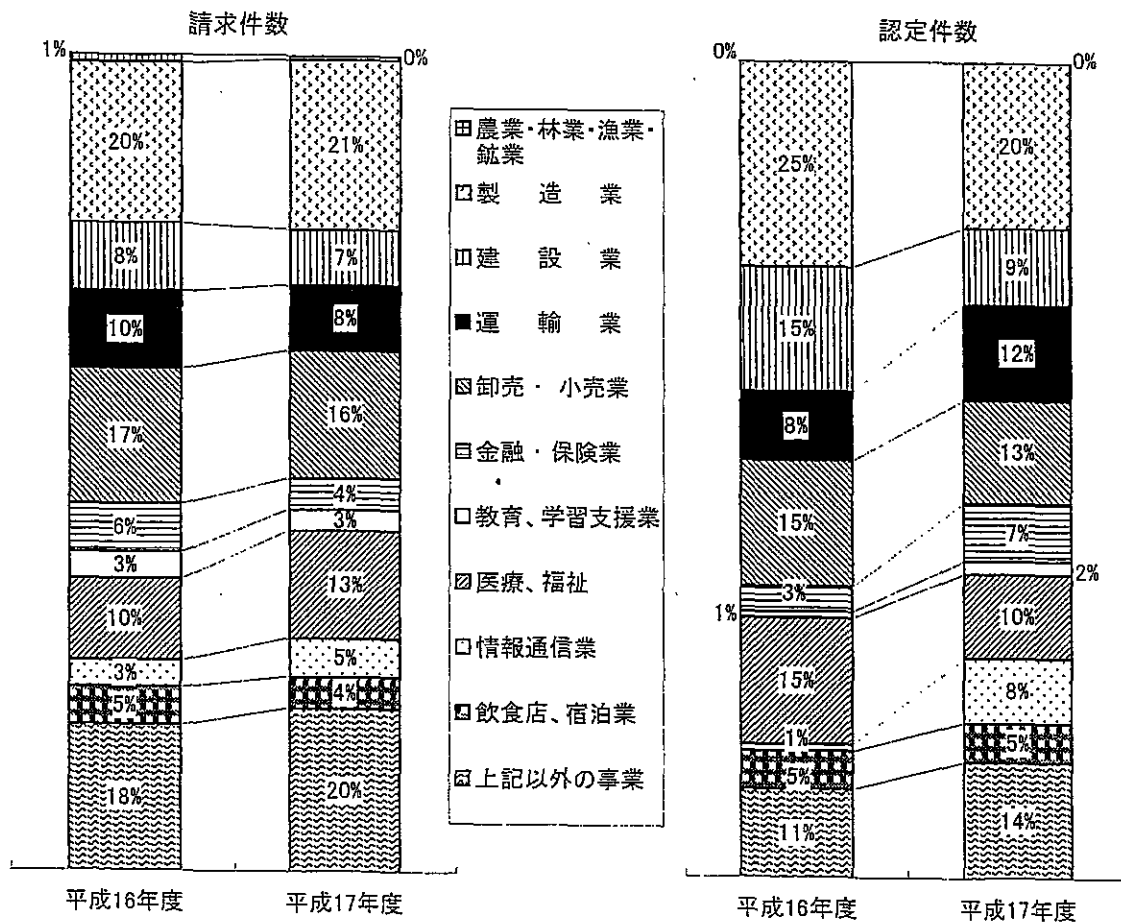


表2-3 精神障害等の職種別請求及び認定件数一覧 (件)

職種	平成16年度		平成17年度	
	請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
専門技術職	117	43	167	40
管理職	45	9	57	14
事務職	89	14	143	17
販売職	77	16	79	10
サービス	55	11	59	13
運輸・通信従事	40	12	35	12
技能職	89	24	102	20
その他	12	1	14	1
合計	524	130	656	127

注 1. 職種については、おおむね「日本標準職業分類」により分類している。  
 2. 専門技術職に分類されているのは、システムエンジニア、専門技術者などであり、技能職に分類されているのは、製造工、専門工事職などである。

図2-3 職種別構成比

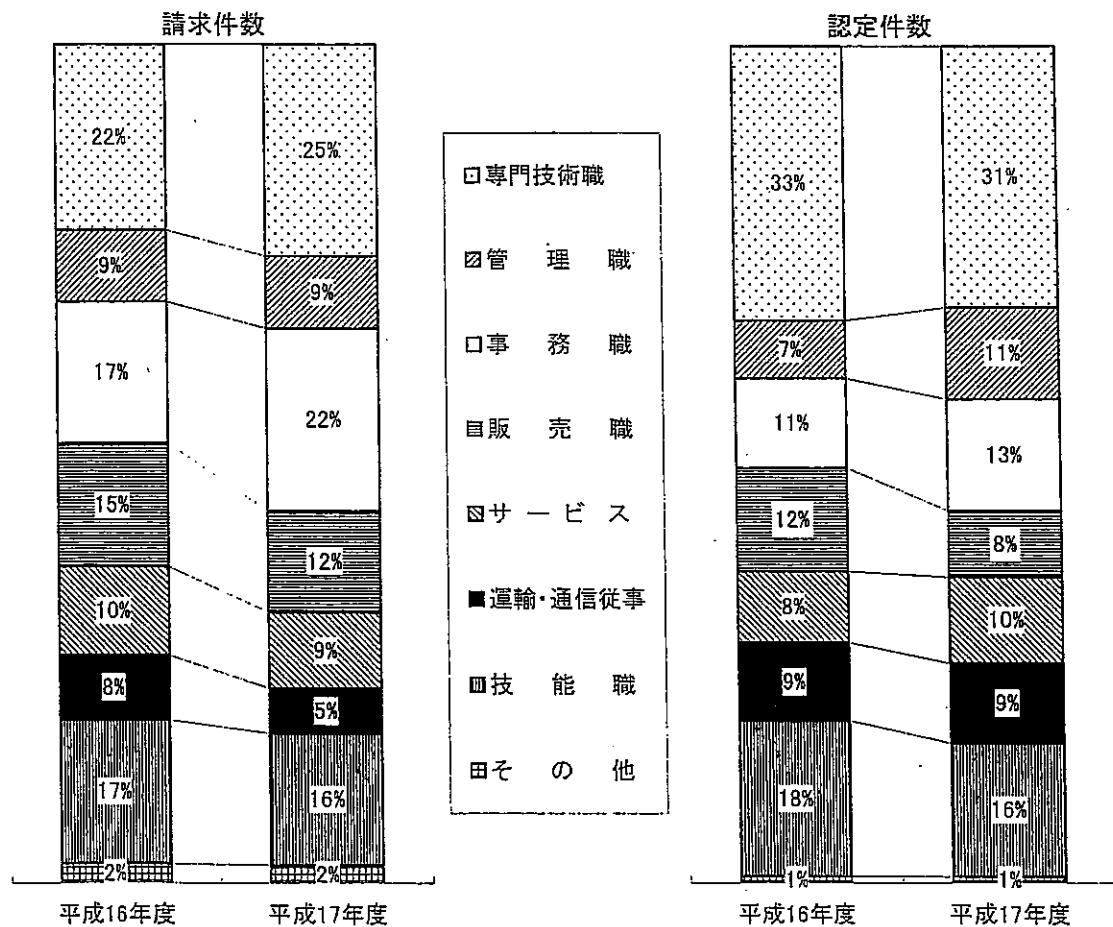




表2-4 精神障害等の年齢別請求及び認定件数一覧

(件)

年齢	年度	平成16年度		平成17年度	
		請求件数	認定件数	請求件数	認定件数
29歳以下		119	26	163	37
30～39歳		189	53	245	39
40～49歳		107	31	136	25
50～59歳		86	16	88	20
60歳以上		23	4	24	6
合計		524	130	656	127

図2-4 年齢別構成比

